

Oracle ソリューションの設計概念 – Self Study

コース概要



e-Learning

このコースでは、Oracle の設計プロセスへのアプローチおよび設計プロセスの実行における重要な要素を取り上げ、Oracle に関するよりの確な情報を提供します。お客様用の Oracle ソリューションの設計時に収集、分析、解釈する重要データに重点を置き、Oracle の設計に関する考慮事項を学習します。また、Oracle の設計に関するガイド/検証の推奨ベスト・プラクティスについても学習します。このコースは、EMC Proven Professional プログラムのテクノロジー・アーキテクトのトラックにおいて不可欠なコースです。

コース番号:	MR-9WP-ORASDC-JPN		
コースタイプ:	自習教材	所要時間:	2 時間

受講対象者

このコースは、次の業務に携わっている、または今後携わる予定の方を対象としています。

- IT 環境の評価および最適なソリューションの設計
- 正式な評価の提供および設計サービス

受講前提条件となる知識/スキル

このコースの内容を理解し、コースを修了するには、EMC のストレージ・ハードウェア/ソフトウェア製品に関する基本的なレベルの知識を習得している必要があります。

EMC Proven Professional プログラムのアソシエイト・レベルの認定を受けていること、目的とするトラックのスペシャリスト・レベルを修了していることを前提とします。

学習目標

このコースを受講すると、下記の内容を学ぶことができます。

- お客様の Oracle 使用方法について収集する重要データの説明
- Oracle に関する技術データ収集方法の説明
- 収集した情報を解釈/理解する方法の説明

Oracle を制御/管理するために設定するパラメータおよび使用するツールの確認

Oracle の構成/導入に関するベスト・プラクティスの説明

モジュールの内容

このコースは、前述のコース目的に対応する 1 つのモジュールで構成されています。

実習

このコースには実習はありません。

実力テスト

実力テストでは、学習した知識やスキルを確認します。このコースの受講後にはオンライン・テストがあります。